

都心部における道路交通の円滑化に関する調査

交通混雑対策について

1. はじめに	・・・	1 頁
2. 都心部の交通混雑対策の方向性	・・・	2 頁
3. 施策の取組状況	・・・	4 頁
4. 今後の進め方	・・・	12 頁

住宅都市みどり局

都心部における交通混雑対策について

1. はじめに

福岡市の交通体系については、公共交通を主軸とし、多様な交通手段が相互に連携した持続可能な総合交通体系の構築を目指し、鉄道ネットワークの強化や、幹線道路ネットワークの整備とともに、パーク・アンド・ライドなどの交通マネジメントの推進などに総合的に取り組んできた。

このような中、社会情勢の変化や、市民をはじめ、有識者や交通事業者の意見も踏まえ、交通施策の基本的指針となる「福岡市都市交通基本計画」を令和7年5月に改定したところである。

本委員会では、都心部の交通混雑対策の取組状況や今後の進め方などについて報告を行うものである。

＜経緯＞

年度	主な都市基盤整備	施策実施状況等を交通対策特別委員会へ報告	主な交通施策の取組み
～H25	H15～H22 都市高速道路 【月隈～福重供用】 H17.2 地下鉄七隈線 【橋本～天神南開業】 H23.4 外環状道路全線開通 H24.7 福岡高速環状線全線開通		<p>天神地区(渡辺通り)の交通混雑悪化</p> <p>H14.9 福岡市交通マネジメント施策推進協議会設立</p> <p>H19～南北道路ネットワークの強化の検討</p> <p>H16～H21 天神フリンジパーキング</p> <p>H20～ モビリティマネジメント/H22～ IC乗車券相互利用</p> <p>H21～ パーク・アンド・ライド(地下鉄橋本駅) / 公共交通マップ</p> <p>H23～ 都心部とウォーターフロントとの交通アクセス強化の検討</p> <p>H24～ 公共交通共通乗車券</p> <p>H24～ パーク・アンド・ライド(商業施設等連携)</p> <p>H25 啓発活動(モビリティイーク&カーフリーテー)</p>
H26			<p>H26.5 福岡市都市交通基本計画改定</p> <p>● 啓発活動(Think Mobility 天神)</p> <p>フリンジパーキングの検討(モビ天パーキング)</p> <p>H27.3 福岡市総合交通戦略とりまとめ</p>
H27			<p>● 啓発活動(モビ天 × モビ博)</p>
H28			<p>都心循環BRTの形成</p>
H29	H30.3 博多BP全線開通		<p>折り返し系統バスの導入</p> <p>附置義務駐車場条例の見直し</p>
H30			<p>学校モビリティマネジメント</p>
R1			<p>フリンジパーキング実証実験(天神地区)</p>
R2	R3.3 福岡高速6号線開通		<p>都心循環BRT(15分間隔運行)</p>
R3			<p>フリンジパーキング駐車場の拡充(天神地区)</p>
R4	R5.3 地下鉄七隈線 【天神南～博多開業】		<p>博多駅筑紫口駅前広場再整備完成</p>
R5			<p>フリンジパーキング開始(博多駅地区)</p>
R6			<p>フリンジパーキング駐車場の拡充(天神地区)</p>
R7			<p>R7.5 福岡市都市交通基本計画改定</p> <p>駐車場満空システムの本格サービス開始</p> <p>フリンジパーキング社会実験</p>

2. 都心部の交通混雑対策の方向性

これまで、都心部の交通混雑対策については、都心部通過交通の分散や公共交通の利用促進などに取り組んできた結果、令和6年の流入交通量は、ピーク時である平成2年と比較すると、約27%減少している。

しかしながら、依然として都心部を目的とするバス・マイカーは多く、都心部の局所的な交通混雑やバス交通の定時性・速達性が低下する要因のひとつとなっている。

そのため、現在「福岡市都市交通基本計画」に基づき、公共交通を主軸とし多様な交通手段が相互に連携した持続可能な総合交通体系の構築を目指し、特に都心部の交通対策としては、「I. 道路交通混雑の緩和」や「II. 都心拠点間の交通ネットワークの強化」を図るため、都心内外において、以下の施策について取り組んでいる。

また、混雑緩和プロジェクトとして、ソフト的な取組みや交通基盤整備など、混雑緩和に向けた様々な施策を推進し、誰もが快適に移動できる交通環境づくりに総合的に取り組んでいく。

＜都心部の交通混雑対策の方向性＞

福岡市都市交通基本計画（令和7年5月改定）

目標像II 都市の魅力・活力を高める交通

都市的な魅力と自然環境が調和したコンパクトな都市に磨きをかけるため、エリアの個性や強みが生かされた拠点への交通ネットワークの充実・強化や、多くの人や物が集中し交流する都心部を支える交通環境づくりに取り組み、都市の魅力・活力を高める交通を目指します。

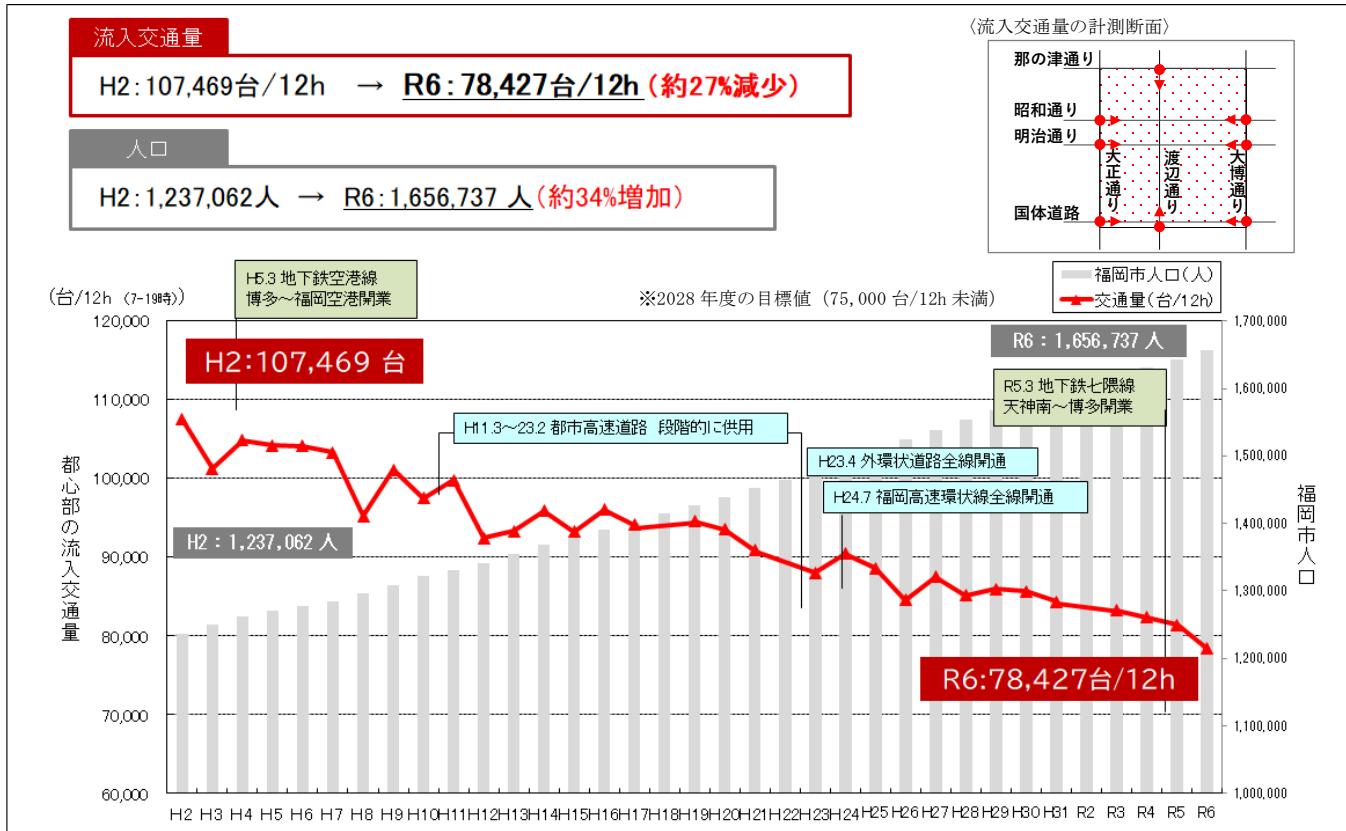
方針4 交流を支える都心部の交通環境づくり

都心部のまちづくりの進展とともに、交流人口の増加が見込まれることから、自動車流入の抑制等による道路交通混雑の緩和や、都心拠点間の公共交通の充実・強化を進めるなど、交流を支える都心部の交通環境づくりに取り組みます。

赤字：今回報告する取組み

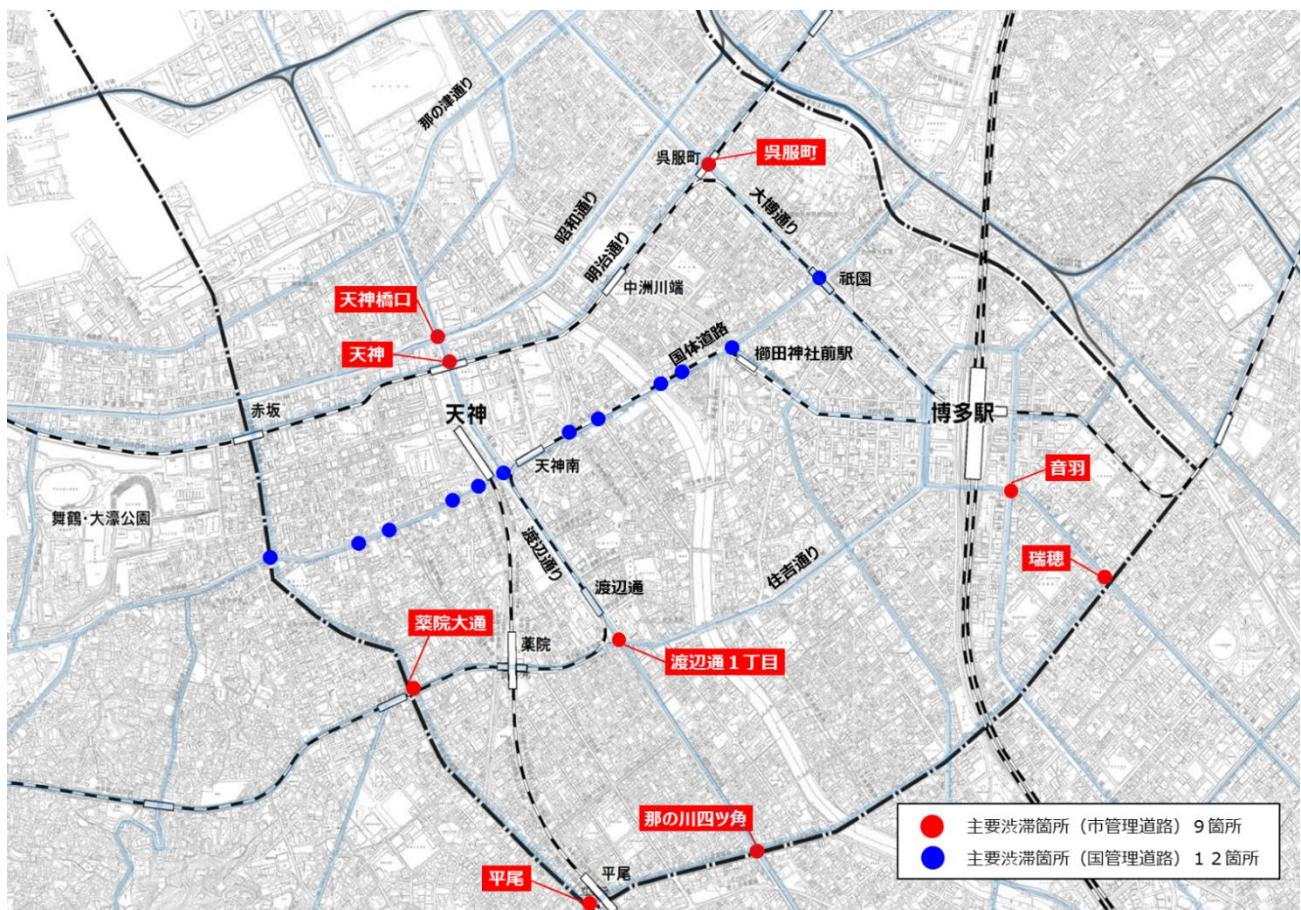
交通混雑対策の方向性		施策	
方針4	交流を支える都心部の交通環境づくり	都心拠点間のアクセス強化	(都)天神通線、那の津通り6車線化の整備 都心拠点間での検討
		公共交通の利便性向上と利用促進	都心循環BRTの利用促進 駅やバス停等における待合環境の改善
		自動車流入の抑制	パーク・アンド・ライドの推進 プリンジパーキングの利用促進 附置義務駐車場条例の特例制度の運用
		道路交通の円滑化	バス交通の円滑化 タクシーの適正利用の促進 荷捌き駐車対策 駐車場の満空等の情報提供
		新たなサービス・技術の利活用・検討	Maas、自動運転等
		シェアリングモビリティの利活用	シェアリングモビリティの利活用

＜都心部の自動車流入交通量の推移（平日）＞



＜都心部の主要渋滞箇所（令和7年9月時点）＞

主要渋滞箇所の選定基準は、車両の平均速度が20km/h未満などが要件となっている。



(福岡国道事務所の公表データを基に作成)

3. 施策の取組状況

I. 道路交通混雑の緩和に向けた取組み 〈全市における取組み〉

(1) 交通事業者と連携した公共交通利用促進

都心部のまちづくりにより、ますます人の動きが活発化する中で、福岡市・西鉄・JR九州が連携し、更なる公共交通利用促進の取組みを行っている。

- ・ 夏休み等の外出を促進する企画乗車券や特別運賃
- ・ パーク・アンド・ライドやフリンジパーキングの利用促進
- ・ イベントと連携した公共交通利用促進
- ・ 様々な広報・PRによる普及・啓発



(2) パーク・アンド・ライド

郊外部の駅やバス停周辺の駐車場に駐車し、公共交通へと乗り換えるパーク・アンド・ライドを推進し、公共交通の利用促進や都心部への自動車流入の抑制を図る。

① 大型商業施設と連携したパーク・アンド・ライド

市内外の大型商業施設において平日に生じる空きを活用し、パーク・アンド・ライド駐車場の確保に取り組んでいる。

〈大型商業施設の駐車場と連携したパーク・アンド・ライド（令和7年9月時点）〉

(単位:台、円/月)

大型商業施設	枠数	契約数	料金	乗継先	備考
イオンモール福岡伊都	124	123	4,191	鉄道	
木の葉モール橋本	250	136	6,000	地下鉄	
イオンモール香椎浜	45	45	5,000	バス	商品券購入 または WAON チャージ
イオン唐津ショッピングセンター	40	39	5,000	バス	商品券購入 または WAON チャージ
イオンモール福津	70	5	5,000	バス	商品券購入 または WAON チャージ
イオンモール筑紫野	30	30	5,000	鉄道	商品券購入 または WAON チャージ
イオン糸島ショッピングセンター	20	5	5,000	バス	商品券購入 または WAON チャージ
イオンマリナタウン店	20	16	4,400	バス	
イオンモール大野城	26	26	4,000	鉄道	
イオンスタイル笹丘 (社会実験中)	10	0	4,400	バス	
計	635	425	-	-	-

※平日のみ利用可

② パーク・アンド・ライド駐車場の情報発信

大型商業施設の駐車場や民間の時間貸駐車場等、パーク・アンド・ライド機能を有する駐車場について、周辺市町とも連携し、位置や利用特典などの分かりやすい情報発信に取り組んでいる。

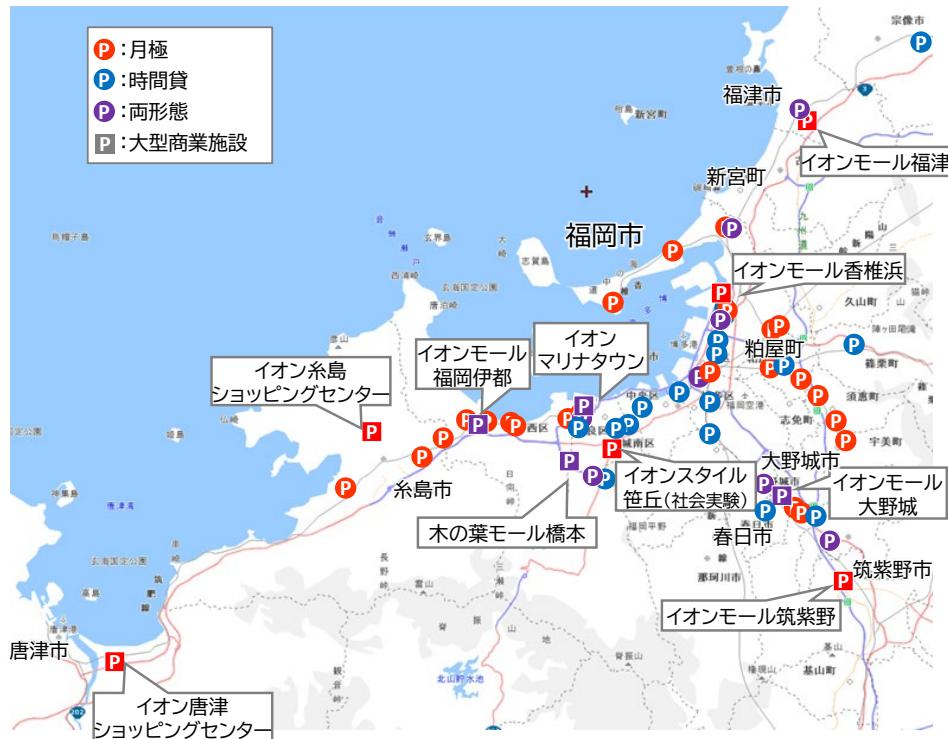
＜情報発信を行うパーク・アンド・ライド駐車場（令和7年9月時点）＞

月 極：41 箇所（枠数総計約 2,800 台）

時 間 貸: 26 箇所 (枠数總計約 9,000 台)

(※月極と時間貸の両形態で運営：11箇所)

〈位置図〉



＜市 HP 等による情報発信＞

- ### お得なパーク・アンド・ライド

おトク！商品券がもらえる！

商業施設駐車場でパーク・アンド・ライドを利用すると、提携店舗の商品券が付与されるのでお得！

おトク！駐車料金が割引価格に！

公共交通機関を利用すると、駐車料金の割引が受けられるのでお得！
※利用特典内容や有無は、駐車場ごとに異なります。

パーク・アンド・ライド駐車場を探す

月極駐車場：毎日の通勤などで平日に都心部へ出かける方にオススメ！

時間貸駐車場：土日などに家族でおでかける際とっても便利

月極駐車場

時間貸駐車

福工大前駅北駐車場

所在地：糟屋郡新宮町美咲 2-7

最寄駅：福工大前

収容台数：33 台

利用時間：24 時間

月極料金：

- 一般：9,000 円（税抜）
- JR 定期利用者：7,100 円（税抜）

料金割引など
お得情報も！

周辺市町も含め
一括掲載！

＜周辺自治体と連携した情報発信＞



パーク・アンド・ライド

パーク・アンド・ライドとは、自家用車を最寄りの駅やバス停の近くに駐車し、公共交通に乗り換えて、目的地に向かうことです。下記サイトでは、イオンモール福津でのパーク・アンド・ライドの取り組みをはじめ、公共交通への乗り換えに便利な駐車場を掲載しています。公共交通機関を利用した工コでスマートな通勤・通学やお買い物などを、この機会にぜひお試しください。

▶マイカーと公共交通機関を使った移動手段 「パーク・アンド・ライド」(福岡市HP)

▶ イオンモール福津パーク・アンド・ライド

周辺市町HPでも
情報発信！

(福津市HP)

I. 道路交通混雑の緩和に向けた取組み 〈都心部における取組み〉

都心部における駐車政策について

フリンジパーキングの確保や附置義務駐車場条例の特例制度の運用により、天神を中心部などに集中する駐車需要を低減・分散させ、中心部への自動車流入の抑制を図る。

フリンジパーキング … (3)

天神中心部などに来訪する自動車交通を公共交通との結節性が高い周辺部の駐車場で受け止めることにより、都心中心部への自動車流入の抑制を図る。

附置義務駐車場条例の特例制度の運用 … (4)

附置義務駐車場条例では、商業地域等において、一定規模以上の建築物を対象として、駐車場の確保を義務付けしている。

一方で、都心部では、交通負荷の軽減を図るため、特例として、公共交通利用促進措置による駐車台数の低減や、天神中心部においてエリア外に駐車場を確保する隔地化を促進している。

駐車場の満空情報の提供 … (5)

駐車場の満空情報の提供を行うことにより、都心中心部での駐車場の入庫待ち車列や空き駐車場を探し回る「うろつき交通」による混雑の緩和を図る。

〈天神地区における駐車政策の考え方〉



(3) フリンジパーキング

都心中心部への自動車流入の抑制を図るため、駐車場利用料金の割引や片道乗車券の提供などをインセンティブとして周辺駐車場への利用転換を促進する取組み。

① 社会実験の実施

令和7年度は、社会実験として、駐車料金の12時間最大500円を300円に下げた場合の利用動向等の効果検証を行うとともに、市内外のマイカー利用者に向けた幅広い広報を展開し、その広報効果についても検証し、更なる利用促進を図る。

<社会実験の概要>

- 実施期間 令和7年10月1日（水）～令和8年3月31日（火）（予定）
- 駐車料金 最大300円／12時間 ※天神に行く方限定
- 対象駐車場 フリンジパーキング対象駐車場（全6か所）のうち、3か所で実施

	対象駐車場	料金(12h)
天神	◎ A. ポートレース福岡 第1立体駐車場 (中央区那の津1-7-5)	最大300円
	◎ B. アキラパーキング (中央区長浜3-15)	
	◎ C. 舞鶴公園第4駐車場 ※ (中央区城内1)	
	○ D. セシオパーク大名 (中央区大名1-2-16)	
天神 博多	○ E. グランドパーキング (渡辺通1-1-3)	最大500円
博多	○ F. 住吉パーキング (住吉5-4-20)	

※今回新たに追加した駐車場



◎:社会実験の対象駐車場

○:その他のフリンジパーキング対象駐車場

- 効果検証 アンケート調査等により、利用動向や利便性向上策のニーズ、効果的な広報手法等について分析
- 備考 フリンジパーキングの利用特典として、全6か所の駐車場において、乗車人数分の西鉄バス・地下鉄の片道乗車券を進呈
- 広報 市政だよりや各種SNS、他都市の広報媒体を活用して周知を行うとともに、商業施設等でポスター掲示やチラシの配布、デジタルサイネージへの掲出等により幅広い広報に努める。

② 各事業者等の役割

	各事業者等の役割
駐車場事業者	割引料金での空き駐車マスの提供
交通事業者 (西鉄・交通局)	乗車人数分の片道乗車券(西鉄バス・地下鉄)の無償提供
エリアマネジメント団体 天神地区:We Love 天神協議会 博多駅地区:博多まちづくり推進協議会	案内所にて割引処理や片道乗車券の配布



福岡市観光案内所（天神地区）



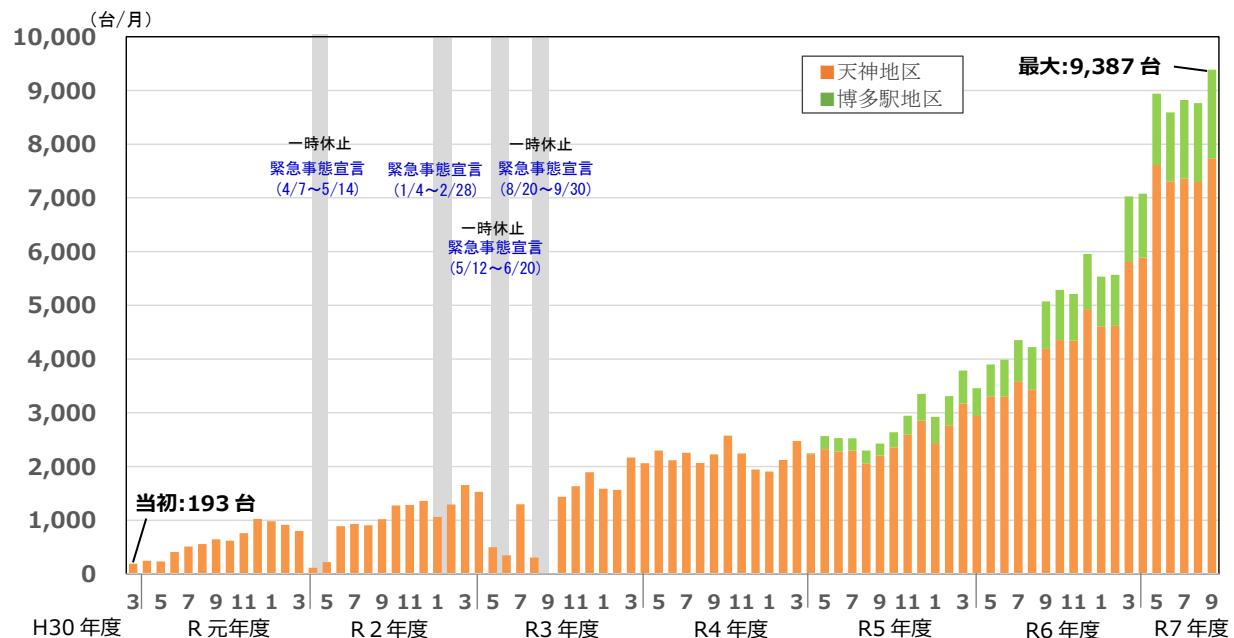
博多駅総合案内所（博多駅地区）



西鉄バス・地下鉄片道乗車券（例）

③ 利用台数の推移

＜月別利用台数＞



＜各駐車場の利用状況等＞

対象駐車場	天神地区 ■ 博多駅地区 ■	開始時期	収容台数	利用台数(令和7年9月) 日平均(台/日)		営業時間	最寄りバス停(駅)
ポートレース福岡 第一立体駐車場	■	H31.3～	1,083台	全日 89.6	平日 72.5 休日 123.9	7時～22時半	福岡市民ホール北口、那の津口
アキラパーキング	■	R4.11～	200台	全日 5.9	—	24時間	港一丁目
セシオパーク大名 (平日のみ)	■	R6.4～	244台	全日 86.7	平日 86.7	24時間	警固一丁目
舞鶴公園第4駐車場	■	R7.10～	277台	—	—	6時半～21時	赤坂門(赤坂駅)
グランドパーキング	■ ■	H31.3～ R5.4～	381台	全日 114.3	平日 90.0 休日 162.9	24時間	渡辺通一丁目(渡辺通駅)
住吉パーキング	■	R5.4～	420台	全日 45.3	平日 44.5 休日 47.0	24時間	住吉四丁目
天神・博多 合計			2,605台	平均 341.8			

(4) 附置義務駐車場条例の特例制度の運用

都心部においては、中心部の交通負荷の軽減を図るため、特例として、公共交通利用促進措置による駐車台数の低減や隔地化を促進する。

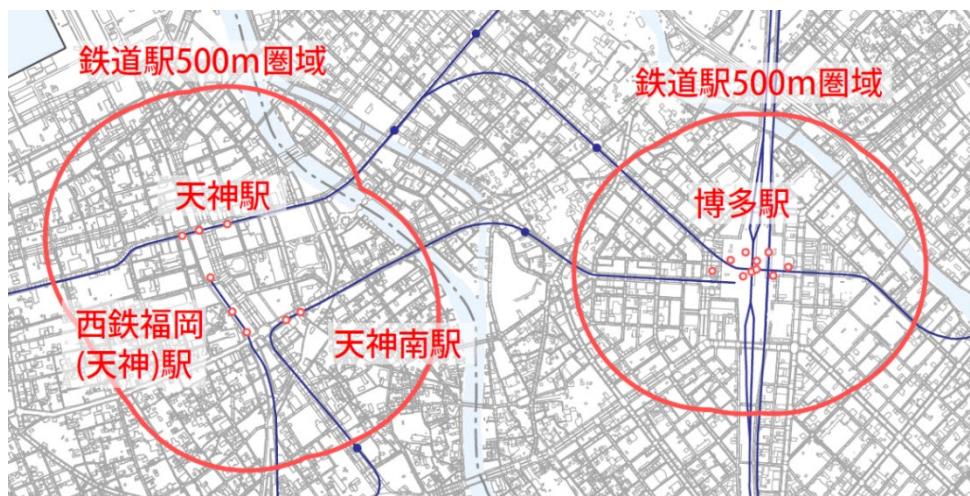
① 公共交通利用促進措置の実施による駐車台数の低減（天神・博多）

公共交通の利便性が高い都心部において、公共交通利用促進措置が実施される建築物に対して、駐車台数を低減する（最大40%低減）。

＜公共交通利用促進措置の主なメニュー＞

- ・鉄道駅への地下通路等の接続
- ・従業員のマイカー通勤の規制
- ・公共交通の時刻表の表示・冊子配布（啓発を含む）等

＜対象範囲＞



② 天神中心部（隔地促進エリア）における附置義務駐車場の隔地化

隔地促進エリア内は、駐車場の隔地化を促進しており、エリア外かつ、敷地より500m以内の場所、または、市が別に定める交通混雑の緩和に資する場所に隔地することができる。

＜隔地促進エリア＞

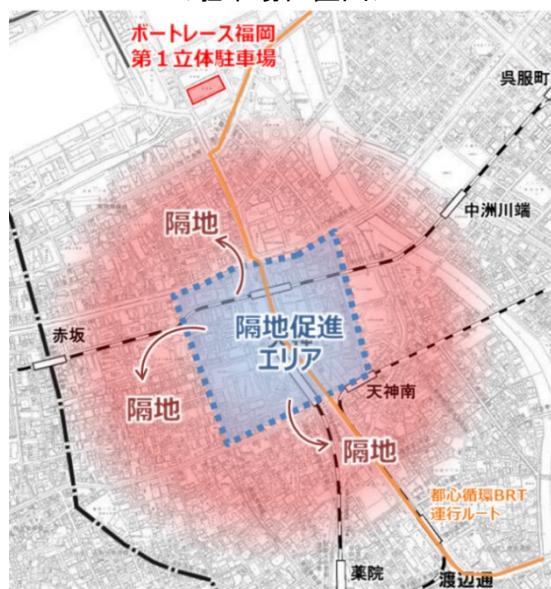


○天神B B B（ビッグバンボーナス）隔地駐車場について

天神B B B隔地駐車場とは、天神B B Bの認定を受けたビルが、附置義務駐車場の隔地先として、市が定める駐車場を優先的に利用できる制度である。

天神北ランプに近接し、都心循環B R Tとの結節性も高い、ボートレース福岡第1立体駐車場を天神B B B隔地駐車場として活用することで、天神中心部への流入抑制を図るもの（令和6年12月供用開始）。

＜駐車場位置図＞



（5）駐車場の満空情報の提供

スマートフォン等で駐車場の空き状況などがリアルタイムで確認できる「福岡市駐車場ナビ」の本格サービスを開始した（令和7年9月1日）。

＜ナビ画面＞



【参考】警固公園地下駐車場の廃止

NEXCO西日本は、現公園占用期限の令和8年3月31日に駐車場営業を終了する。

なお、以下のことから、令和6年12月に都市計画駐車場の変更（福岡第一自動車駐車場の廃止）を行っている。

○経営上の課題

NEXCO西日本によると、駐車場の設備が老朽化している一方、利益の確保が難しく設備更新費用の回収が見込めないため、今後の安定的な事業継続が困難となっている。

○市の交通施策

都心部への自動車交通を削減・抑制する取組みを行ってきている。

II. 都心拠点間の交通ネットワークの強化に向けた取組み

(1) 都心循環BRT

連節バスの導入をはじめ、バス路線の再編・効率化、バス走行環境の改善、鉄道等との乗継強化などを行い、天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区、ウォーターフロント地区を効率よく繋ぐことで、都心拠点間の交通ネットワークの強化を図る。



① これまでの取組み

- ・道路交通混雑の緩和を図るため、連節バスの導入にあわせてバス路線の再編・効率化を実施し、都心部の路線バスを約2割削減。
(渡辺通り：約15%減、大博通り：約18%減)
- ・バス交通（連節バス+路線バス）の定時性・速達性の確保による公共交通の利便性を向上させるため、交通規制（バス優先レーン）の拡充・強化にあわせ、バス走行空間の明示化（H31.2）等を実施。
- ・令和元年7月からの約15分間隔運行により、バス交通の輸送力を約1.3倍に増強。

② 完全キャッシュレスバスの実証運行

交通事業者において、原則として現金以外の決済手段により運賃収受を行う取組みを実施中。

実証期間：令和6年12月3日～令和8年3月31日

主な目的：

- ・バスの停車時間削減による定時性の確保
- ・運賃収受の自動化に伴うドライバーの負担軽減 など

〔参考：実証運行における効果〕

- ・キャッシュレス比率
【実証前(R5.12)】87.1% ⇒ 【実証中(R6.12)】90.1% (3.0%増)
- ・定時性（終点到着時の遅れが5分以内の割合）
【実証前(R5.12)】82.9% ⇒ 【実証中(R6.12)】84.3% (1.4%増)
※定時性については、12月の平日（クリスマスや年末など特異日を除く）で比較

＜運行状況・ルート＞



＜周知資料＞



4. 今後の進め方

福岡市においては、公共交通を主軸として多様な交通手段が相互に連携した持続可能な総合交通体系の構築を目指し、公共交通ネットワークの強化や幹線道路ネットワークの形成、交通マネジメントの推進のため、市民や企業、交通事業者、行政がより一層連携して交通対策に取り組んでいくこととしている。

都心部においては、以下の施策等について取り組みながら、道路交通混雑の緩和や都心拠点間の交通ネットワークの強化を図っていく。

- ・ フリンジパーキングの社会実験の実施
- ・ 駐車場の満空情報の拡充
- ・ 天神通線の南北延伸部の整備
- ・ ウォーターフロント地区のまちづくりに応じた交通対策の検討
- ・ 都心循環BRTに係る定時性・速達性の向上や利用促進に向けた取組み
- ・ 国と連携した国体道路の空間利活用に向けた取組み